

【概要版】

高齢者の福祉や介護に関する調査

－在宅介護実態調査－

実施結果

■ 調査対象及び回収数

調査対象	認定調査（更新）を受ける在宅生活の方
調査件数	605 件
回収数	605 件
回収率	100%
対象抽出方法	実施期間中に要支援・要介護認定調査（更新）を受ける在宅生活者

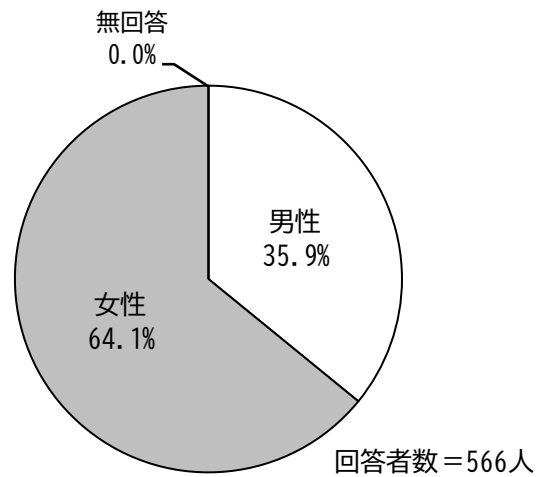
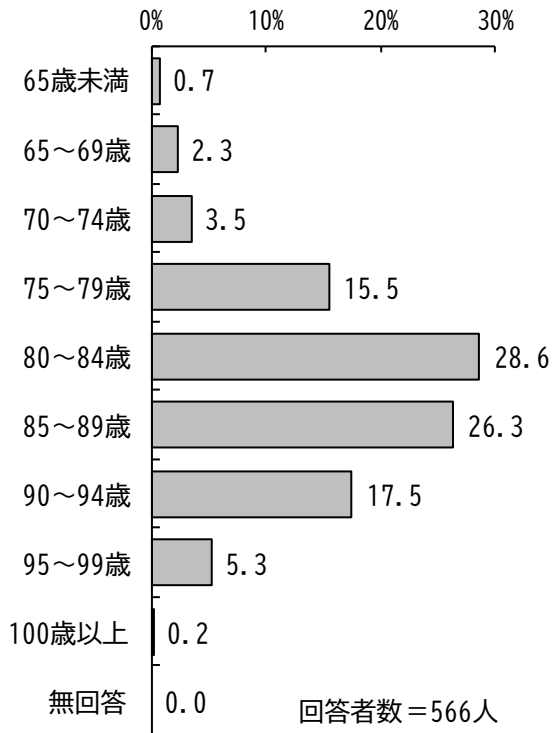
■ 調査結果の見方

- ・ 百分率（%）は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入した数値であるため、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしている。
- ・ グラフ内の（ ）は、設問の回答者数（母数）をあらわしている。
- ・ グラフ内の「回答者数」は、各設問に該当する回答の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

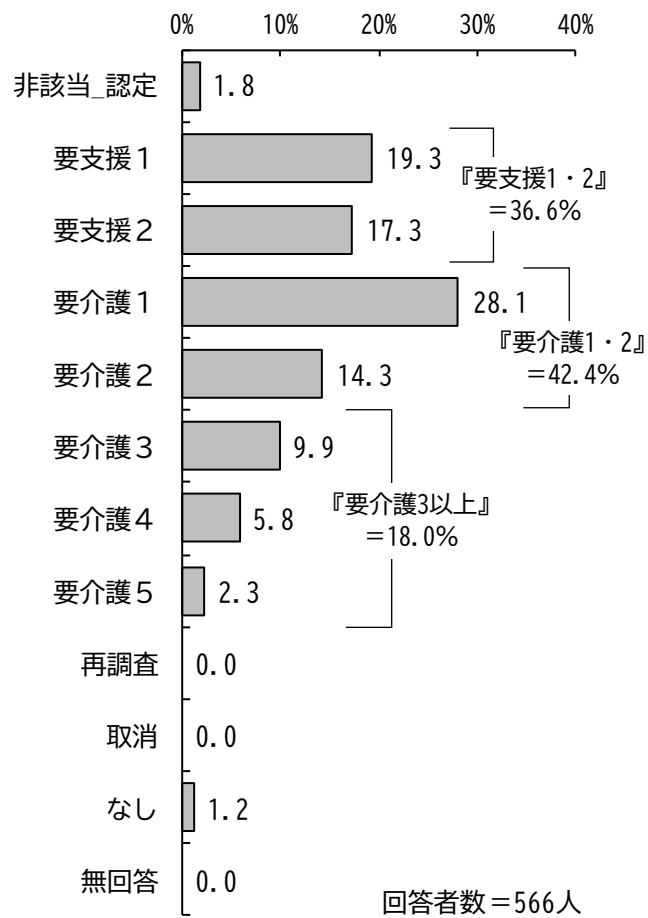
■ 調査結果の概要

回答者の属性について

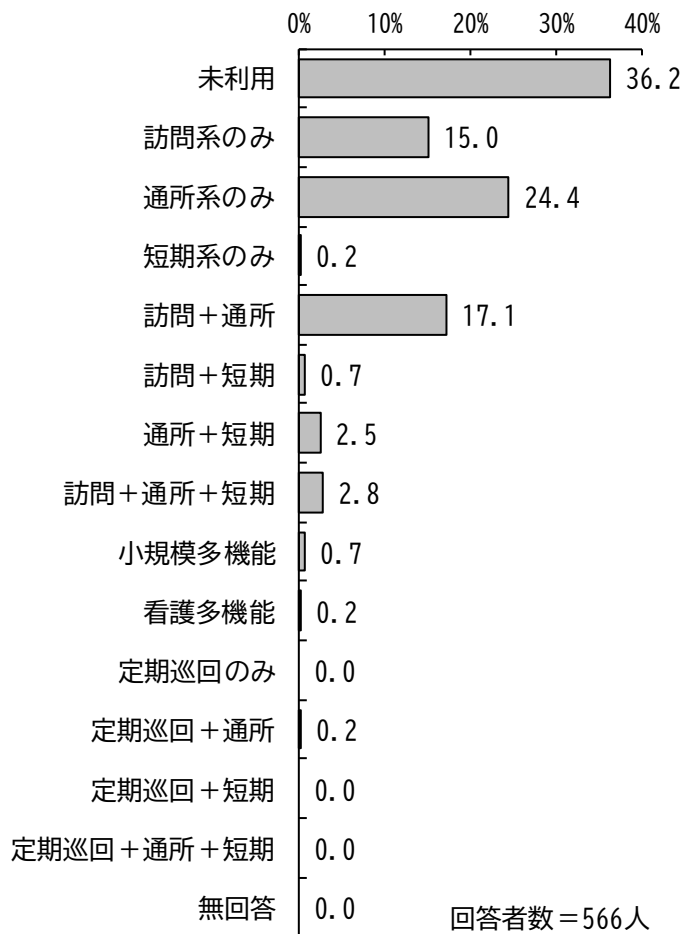
(1) 本人の年齢と性別



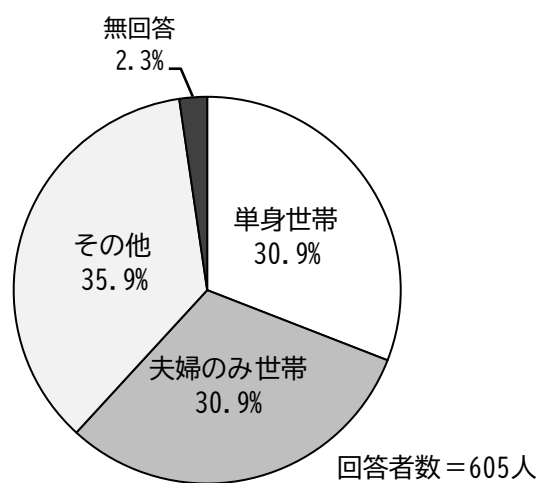
(2) 要介護度(二次判定結果)



(3) サービスの利用状況

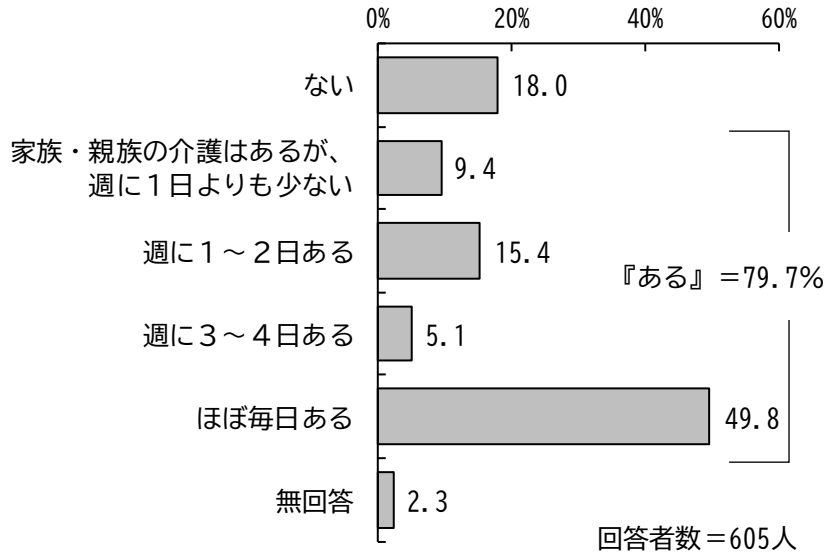


(4) 世帯類型



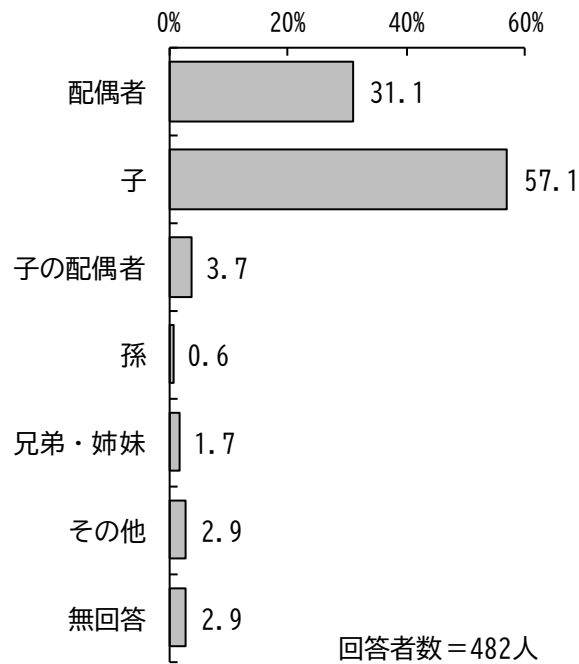
家族による介護について

(1) 家族や親族による介護の頻度

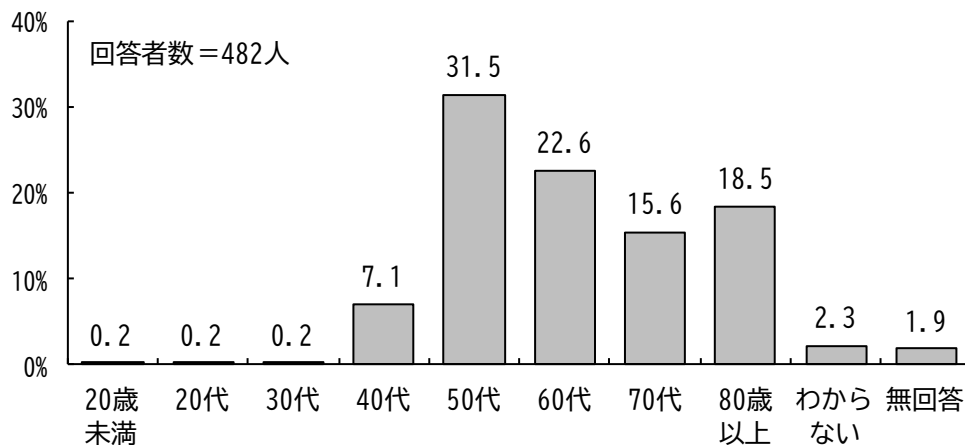


※『ある』 = 「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」 + 「週に1～2日ある」 + 「週に3～4日ある」 + 「ほぼ毎日ある」

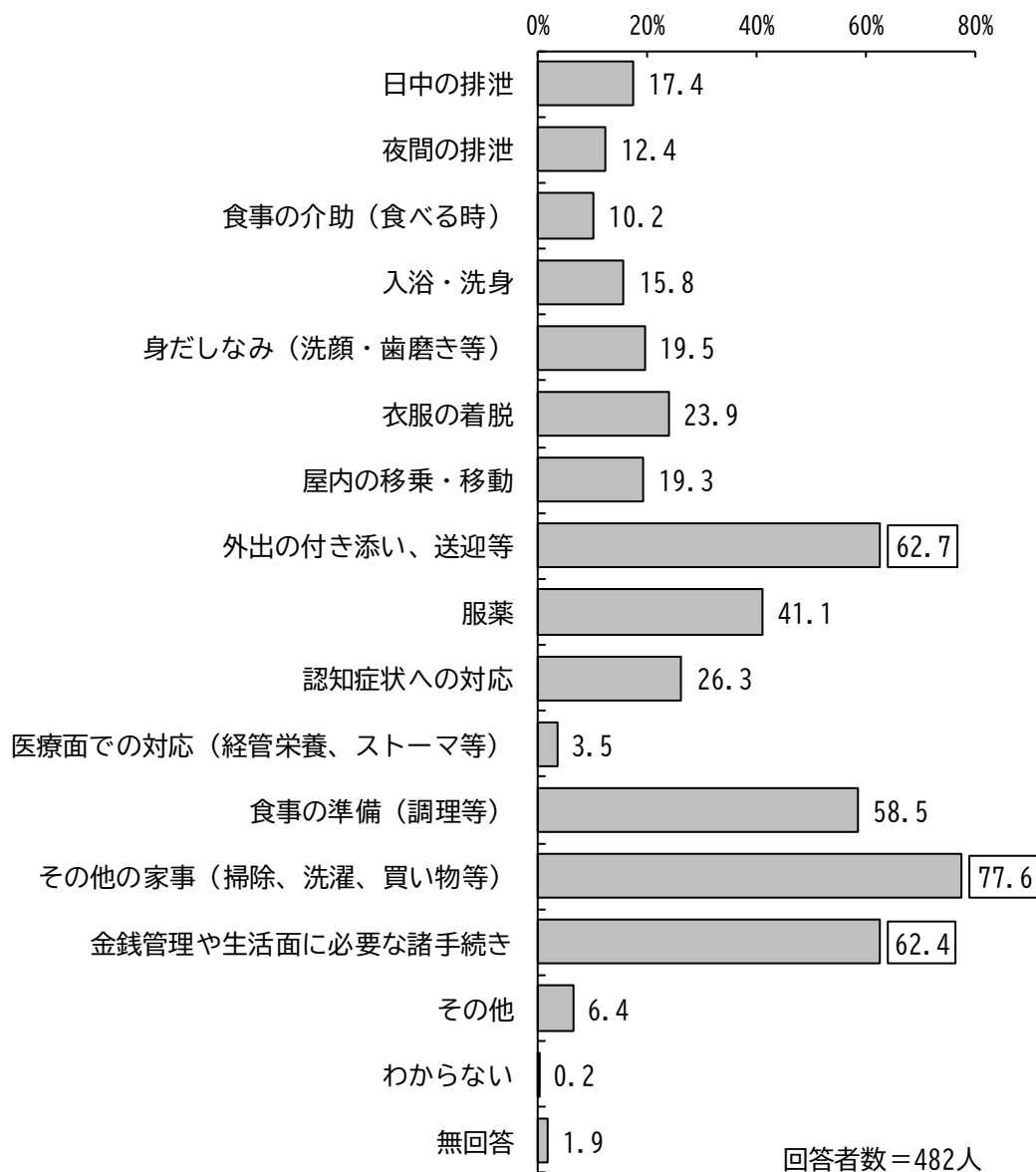
(2) 主な介護者



(3) 主な介護者の年齢

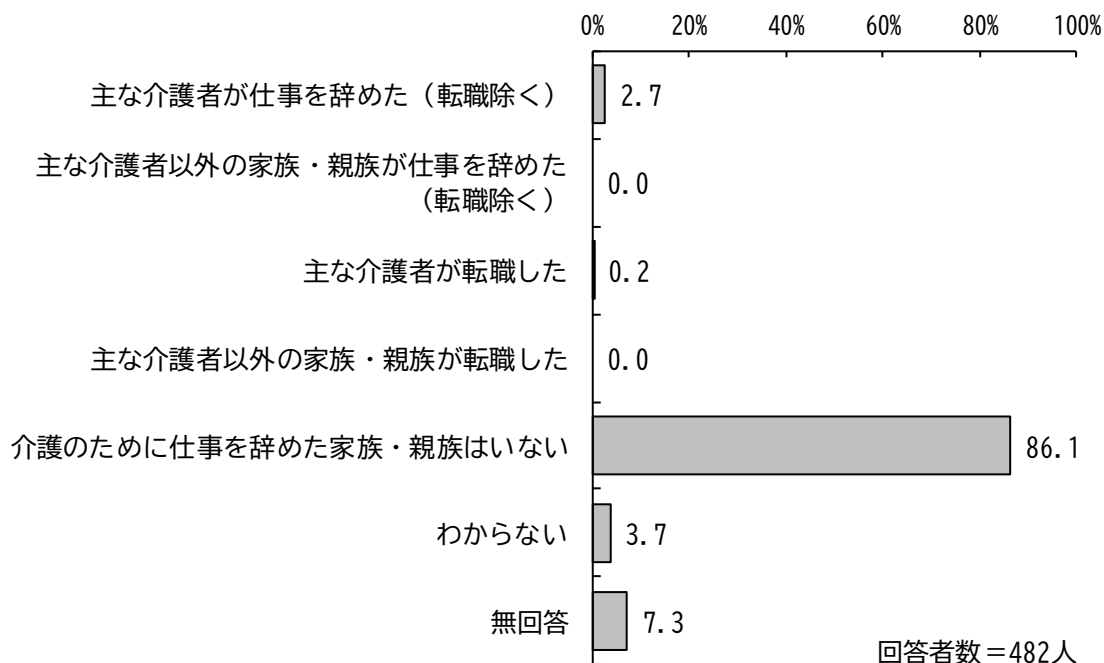


(4) 主な介護者が行っている介護



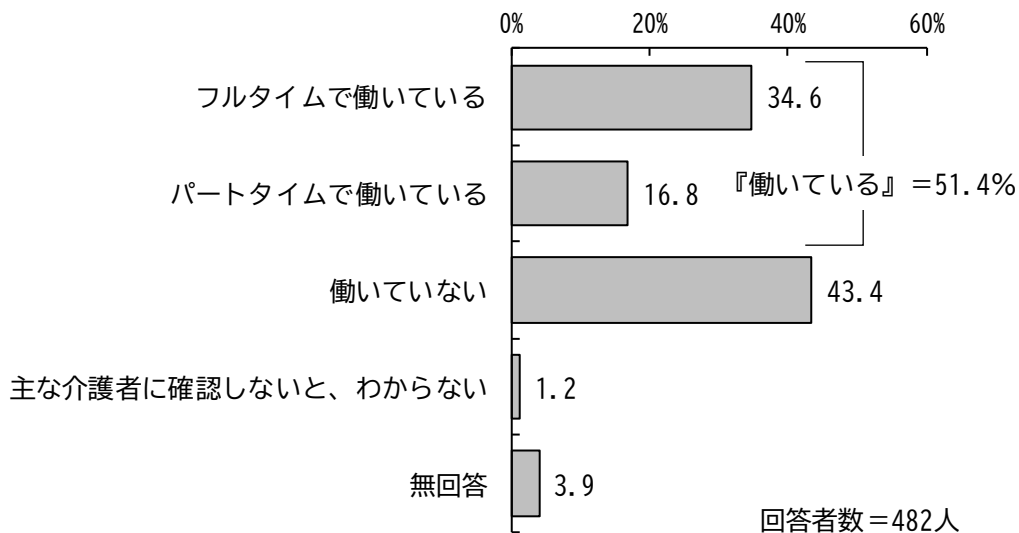
※□は「その他」を除く上位3位の選択肢

(5) 過去1年間の介護離職の有無



※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含む。

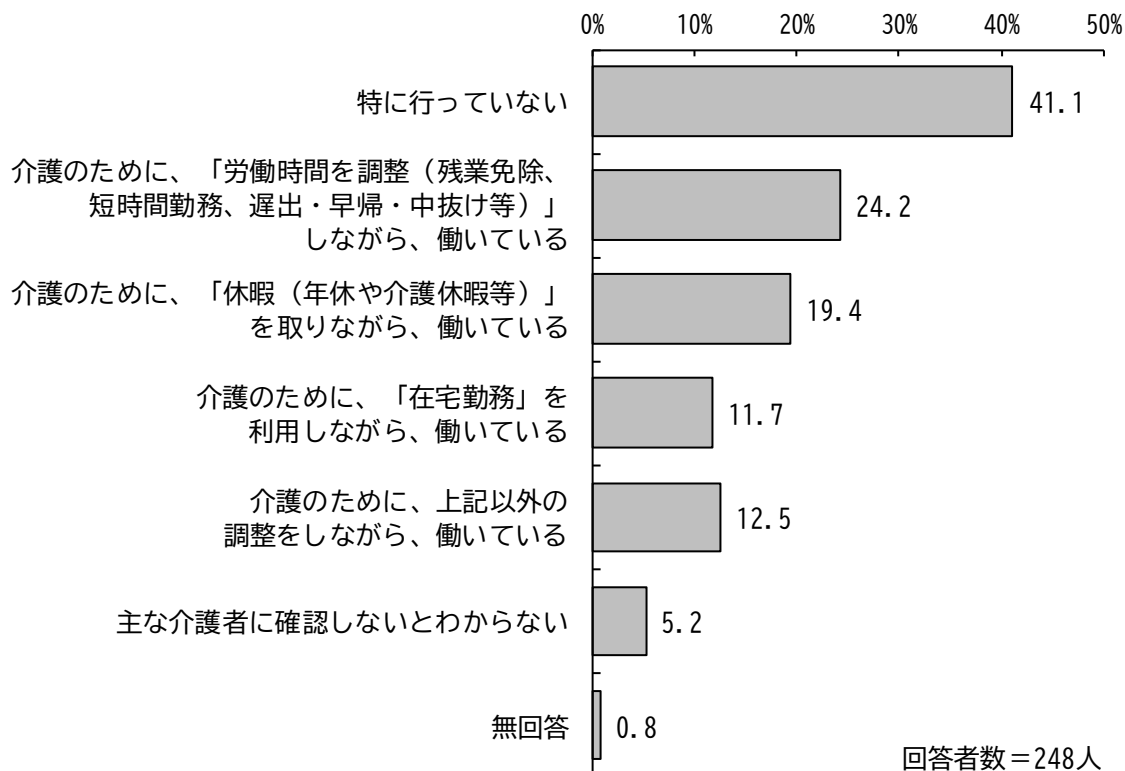
(6) 主な介護者の勤務形態



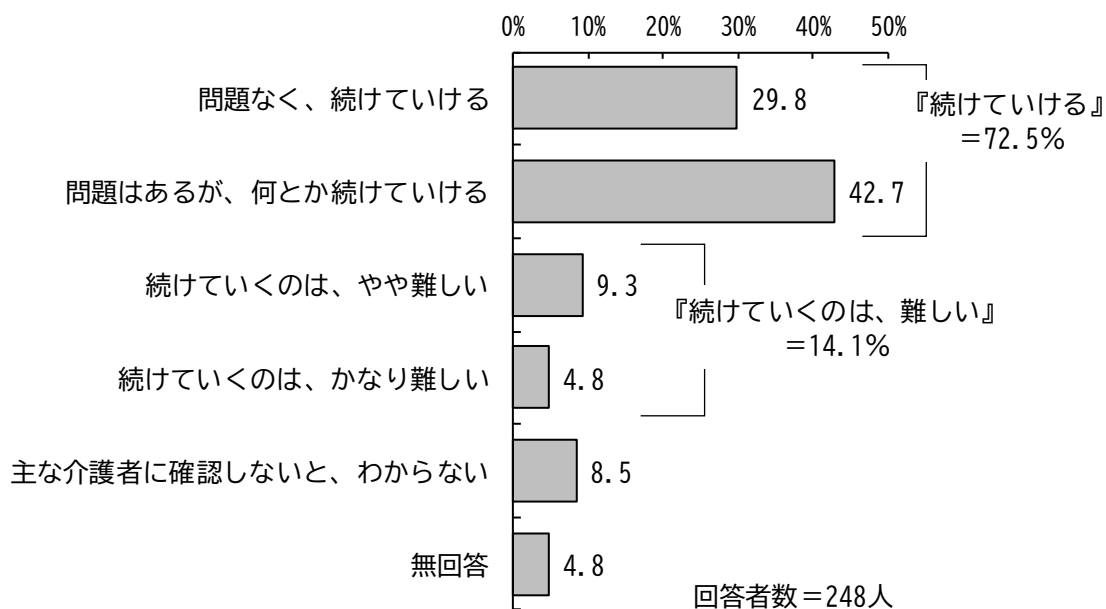
※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当する。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含む。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択。

※『働いている』 = 「フルタイムで働いている」 + 「パートタイムで働いている」

(7) 主な介護者の働き方の調整の有無



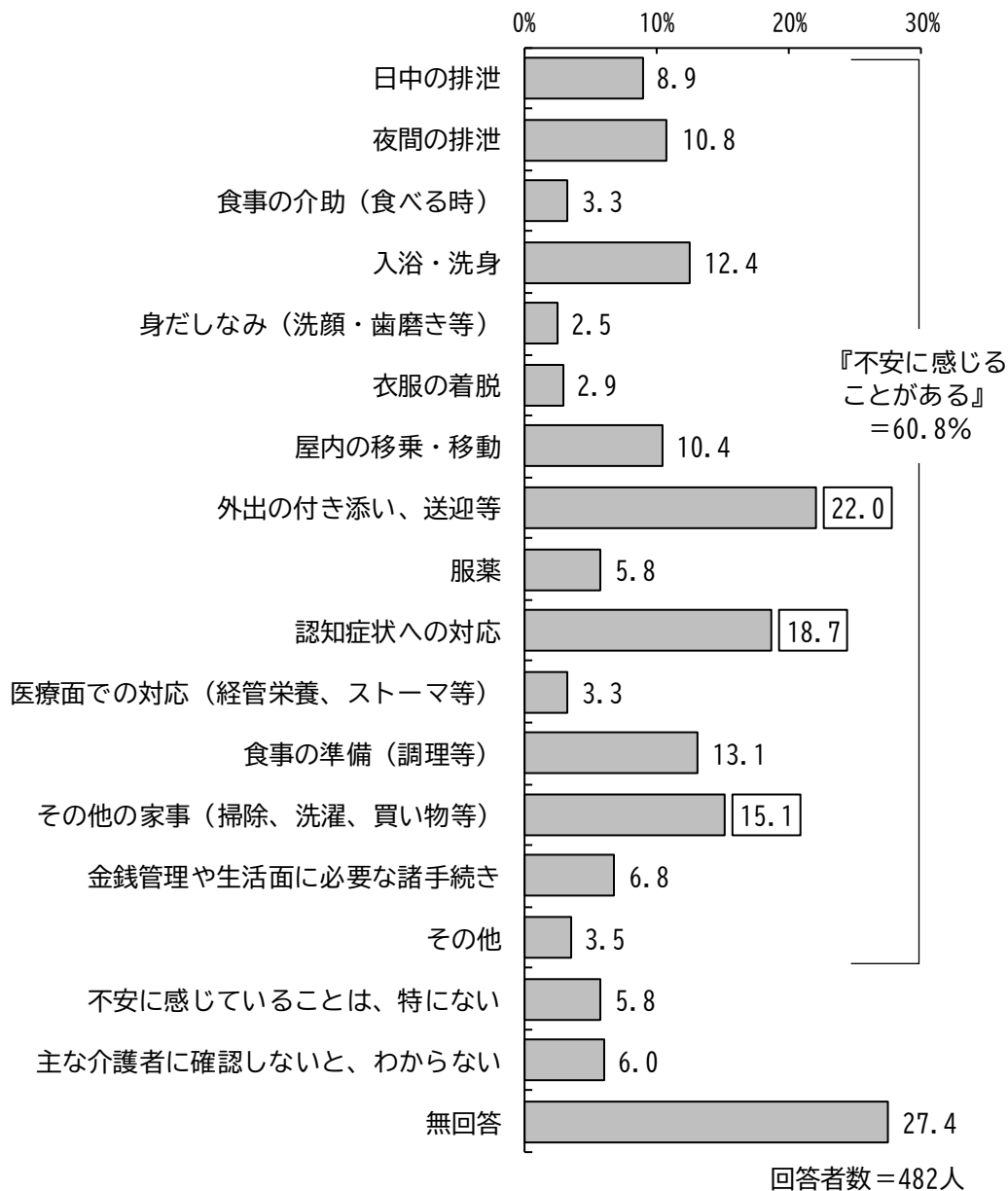
(8) 仕事と介護の両立の可否



※ 『続けていける』 = 「問題なく、続けていける」 + 「問題はあるが、何とか続けていける」

※ 『続けていくのは、難しい』 = 「続けていくのは、やや難しい」 + 「続けていくのは、かなり難しい」

(9) 主な介護者が不安に感じる介護

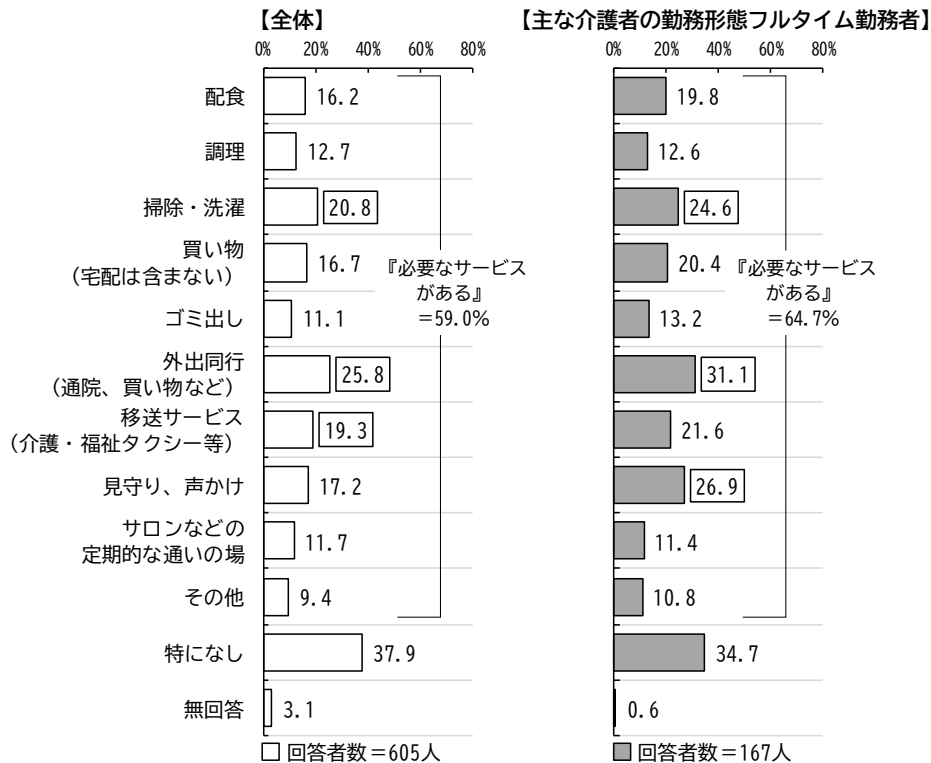


※『不安に感じる』=100%-「不安に感じていることは、特にない」-
「主な介護者に確認しないと、わからない」-「無回答」

※□は「その他」を除く上位3位の選択肢

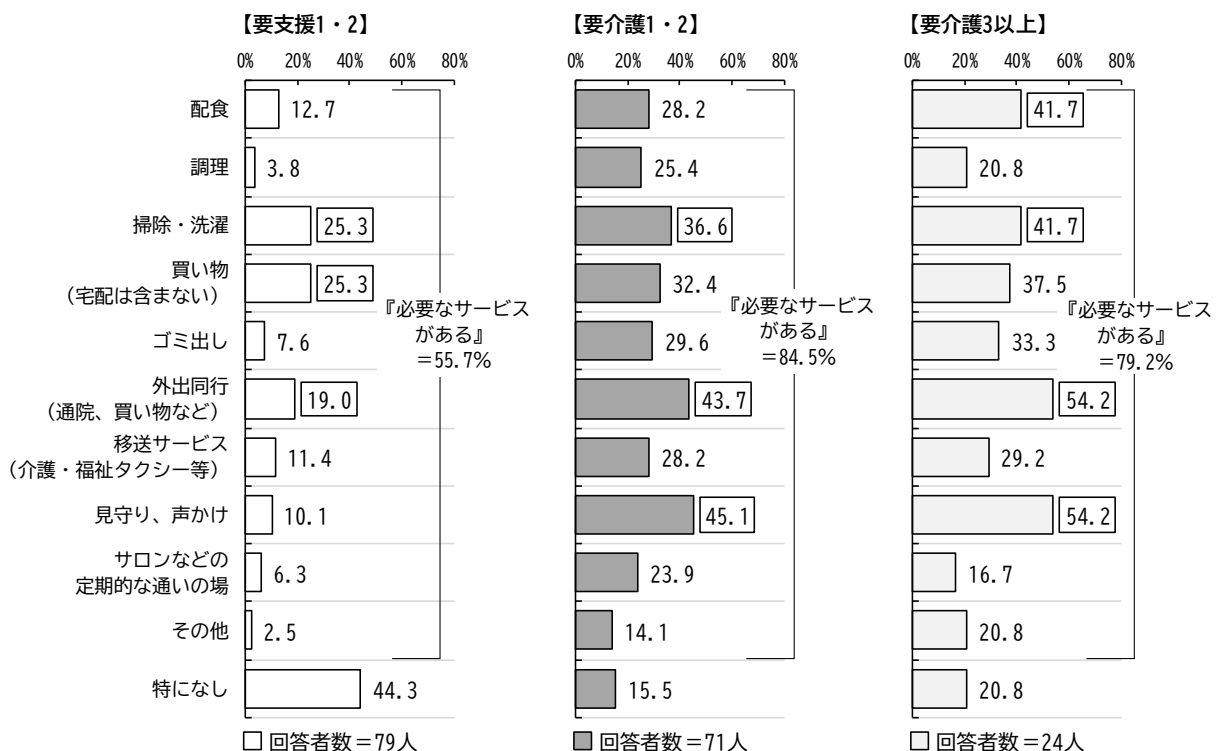
介護サービスについて

(1) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

(単身世帯のみ・要介護度)

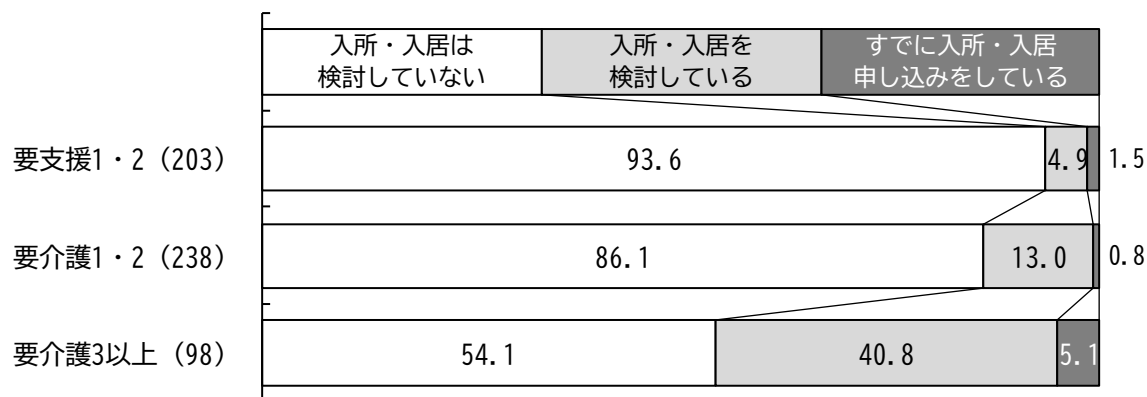


※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含む。

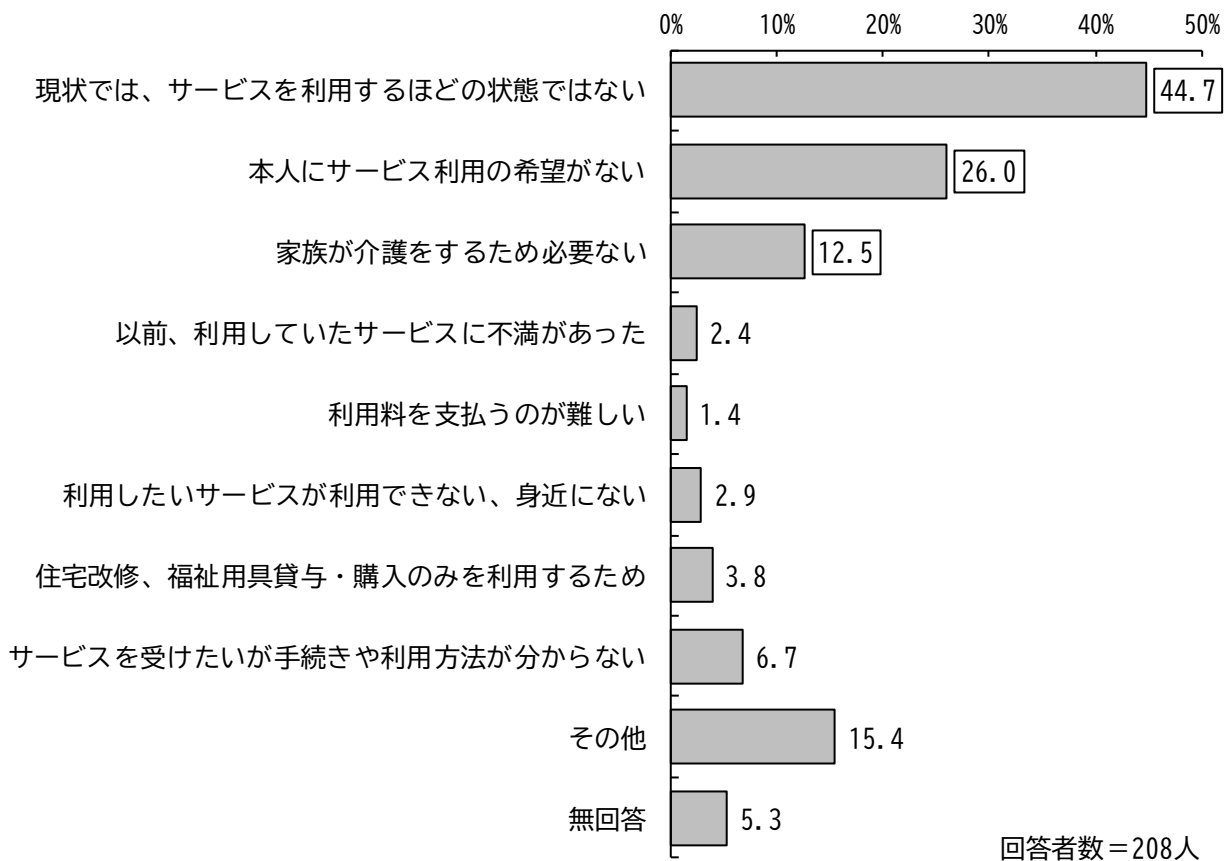
※『必要なサービスがある』=100%-「特になし」-「無回答」

※□は「その他」「特になし」を除く上位3位の選択肢

(3) 施設等への入所・入居の検討状況（要介護度）

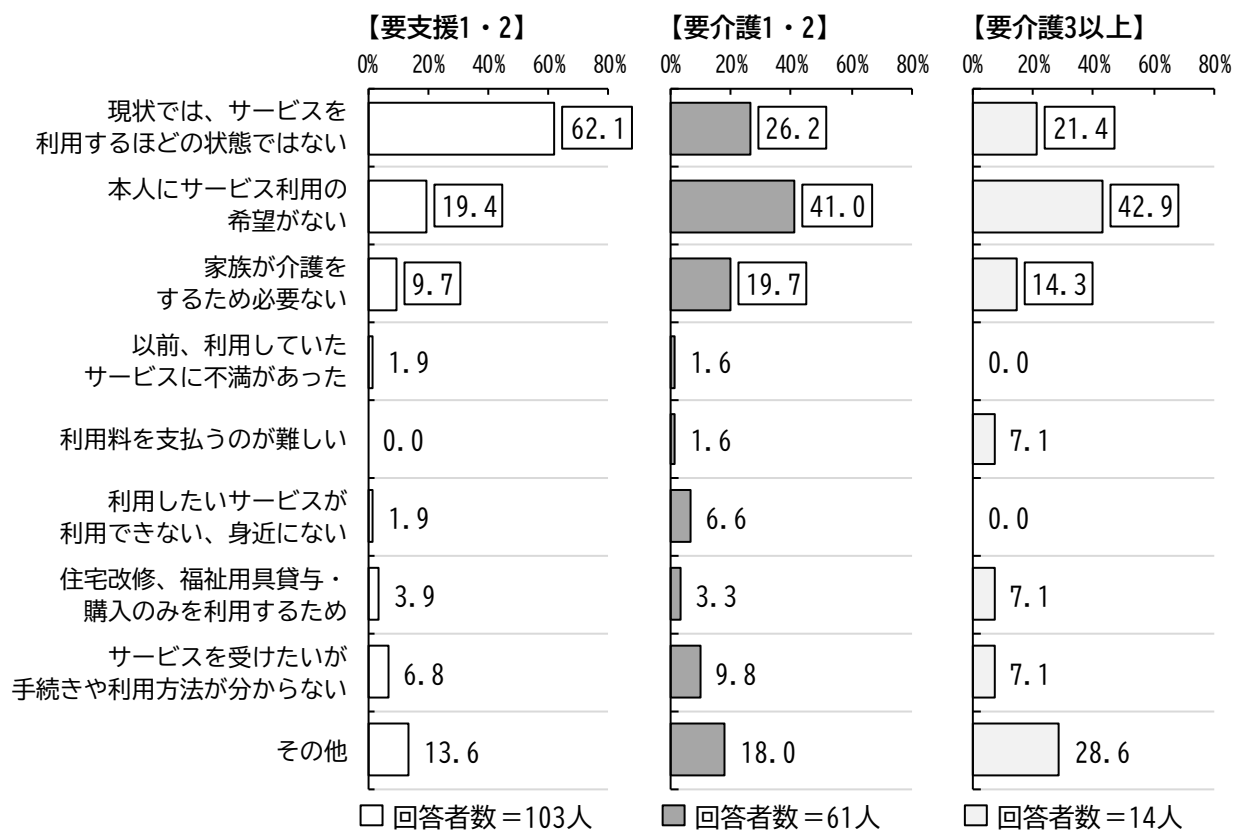


(4) 介護保険サービスを利用していない理由



※ [] は「その他」を除く上位3位の選択肢

(5) 介護保険サービスを利用していない理由（要介護度）



※□は「その他」を除く上位3位の選択肢

－在宅介護実態調査－ 調査結果のまとめ

※：％の表記は、本編の数値の小数点第1位を四捨五入しています。

【回答者の属性について】 P2～P4

- ・ 回答者の64%の方が女性である。また、93%の方が後期高齢者である。
- ・ 要介護度の二次判定結果は要支援1・2の方が37%、要介護1・2の方が42%である。
- ・ サービスの利用状況は、通所系のみ利用が24%、未利用は36%である。
- ・ 単身世帯、夫婦のみの世帯がともに31%を占めており、合わせて6割以上である。

【家族による介護について】 P5～P9

- ・ 80%の方が家族による介護を受けており、そのうち「ほぼ毎日ある」が約半数である。
- ・ 主な介護者の88%が配偶者または子であり、57%が60歳以上である。
- ・ 主な介護者が行っている介護は「掃除、洗濯、買物等」(78%)、「外出の付き添い等」(63%)、「金銭管理等」(62%)、「食事の準備」(59%)で、5割以上となっている。
- ・ 主な家族介護者の3%が過去1年間に介護を主な理由として仕事を辞めている。
- ・ 主な家族介護者の51%はフルタイム又はパートタイムで働いている。
- ・ 働いている主な家族介護者の53%が介護のために働き方を調整している。
- ・ 働いている主な家族介護者の14%が仕事と介護の両立が難しいと感じている。
- ・ 主な介護者の22%が「外出の付き添い等」、19%が「認知症状への対応」に不安を抱えている。

【介護サービスについて】 P10～P12

- ・ 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの上位3つは「外出同行（通院、買い物など）(26%)」、「掃除・洗濯(21%)」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）(19%)」である。
- ・ 要支援1・2の方の5%、要介護1・2の方の13%、要介護3以上の方の41%が施設等への入所・入居を検討している。
- ・ 介護サービスを利用しない理由として主なものは「サービスを利用するほどの状態ではない(45%)」、「本人にサービス利用の希望がない(26%)」である。